

クサリゴケ科

オオスミヨウジョウゴケ

Cololejeunea lanciloba Steph.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… ー

■ 県内分布

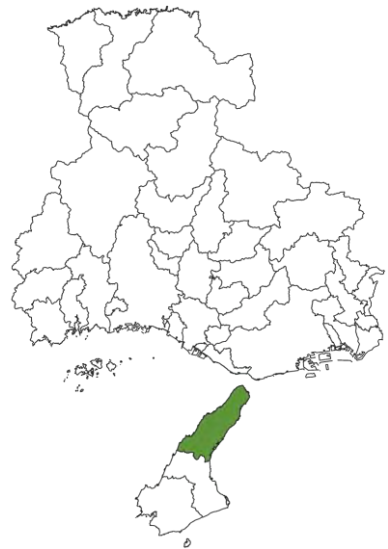
淡路市

■ 国内分布

近畿、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

近年に近畿各地（大阪、和歌山、奈良）で見つかっている。

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

樹幹に強く圧着した群落をつくる。植物体の幅は葉を含めて0.4mm以上、無性芽は背片の腹側だけでなく縁にもつく。背片の背面は平滑あるいはわずかにマミラ状。背片の全周あるいは一部に、薄壁でほぼ透明な細胞が縁取るように存在する。腹片の透明細胞は第1歯の先端の細胞の先あるいはキールと反対側にある。腹片は大きくて背片の1/3以上の長さがある。腹葉は欠く（ヒメクサリゴケ属全体の特徴）。油体は各細胞に10個程度あり、球形から細長いラグビーボール状、やや小型のブドウ房状。海岸林等、乾いた樹幹に生育する。